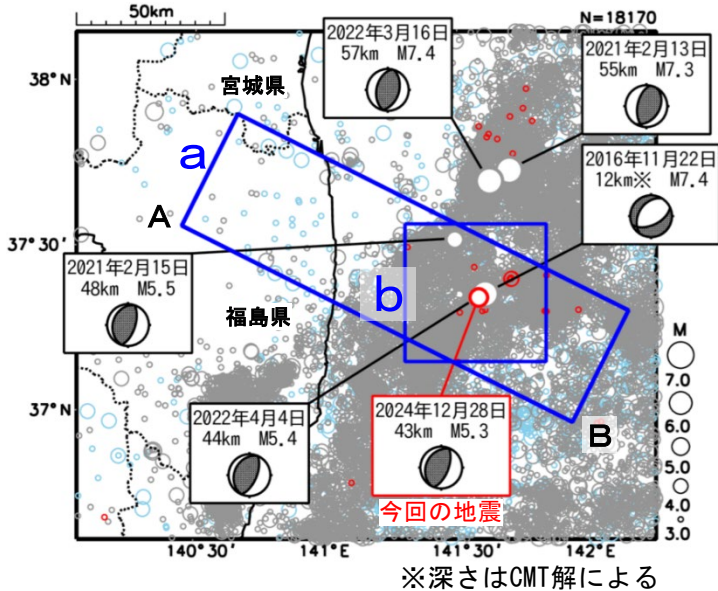


12月28日 福島県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2024年12月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

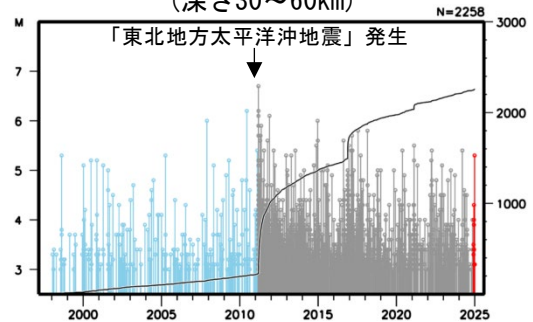
○ 1997年10月1日～2011年2月28日 ○ 2011年3月1日～2024年11月30日
● 2024年12月1日以降～
図中の発震機構はCMT解を示す



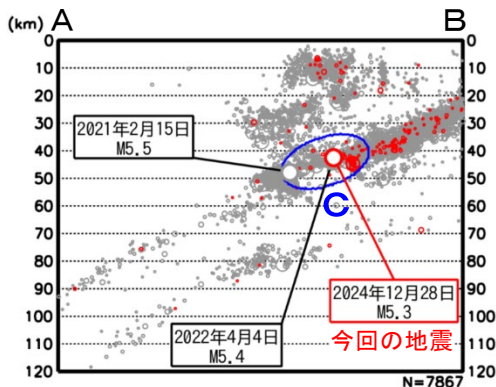
2024年12月28日04時10分に福島県沖の深さ43kmで $M 5.3$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前は $M 5.0$ 以上の地震がしばしば発生していた。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、 $M 5.0$ 以上の地震が度々発生している。

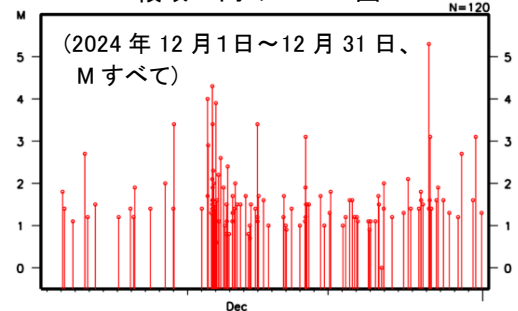
領域b内のM-T図及び回数積算図 (深さ30～60km)



領域a内の断面図（A-B投影、
2020年9月1日～2024年12月31日、 $M \geq 1.5$ ）

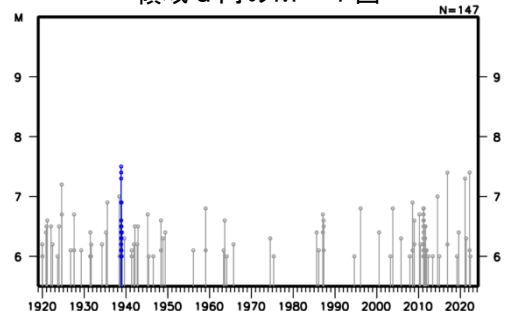


領域c内のM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分には $M 7.5$ の地震（最大震度5）が発生し、宮城県花巻で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震の後、同年11月30日までに $M 6.0$ 以上の地震回数が増加するなど、福島県沖で地震活動が活発となった。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域d内のM-T図



震央分布図

(1919年1月1日～2024年12月31日、
深さ0～140km、 $M \geq 6.0$)

○: 1938年11月1日～1938年11月30日
○: 上記以外の期間
赤の点線は海溝軸を示す

